

報道関係各位

平成 30 年 11 月 7 日  
一般社団法人 日本電気計測器工業会

未来のものづくり社会を支える 計測・制御技術の総合展

## 過去最大小間数・出展者が集結して「計測展 2018 OSAKA」開幕 ～プラント・インフラ保全、次世代モビリティを支える計測と制御技術の未来が体感できる 3 日間～

一般社団法人日本電気計測器工業会(会長 堀場 厚)が主催する計測・制御の最先端技術を紹介する専門展示会「計測展 2018 OSAKA」は本日開幕いたしました。

「未来を、共創(つくる)。～“KANSAI” Connecting Invention～」を 2018 年の PRメッセージに掲げる本展示会は、関西圏の産官学やIoT活用推進団体と密に連携し、産業のマザーツールである計測と制御技術の最新動向と世界的トレンドを関西・大阪から発信していきます。

特に今回は、計測・制御などの産業機器がIoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)と融合することで新たな進化を遂げた具体的なソリューションを発信します。現場から集まるデータは、共有と利活用が進むことで、ますますその価値を高め、政府が掲げる「Connected Industries」の実現に通じると考えます。また、来場者との交流やビジネス創出を目指す“関西らしい”企画も多数ご用意しました。

### ◆本展示会の見どころ

#### ①「工場設備とIoT」と「AIと自動運転、自動化技術」に焦点を当て、3 日間で 66 テーマのセミナーと関連展示

大阪開催の「計測展」は、先端ユーザーや来場者のニーズを取り入れ、国内外の産業界の最新トレンドと現場の関心事を展示会のテーマとして掲げて積極的に情報発信してきました。15回目となる2018年は、次の2つのテーマに着目し、来場者がより理解を深めることができるよう、カンファレンスと展示による複合的な展示会を開催します。

<計測展 OSAKA が注力する 2018 年テーマ>

- 「工場設備とIoT」
- 「AIと自動運転、自動化技術」

#### ②関西ならではの新たな付加価値提供をより強化すべく、省庁や団体との特別連携拡大

IoTで収集されたビッグデータを活用して新しい価値を創造するという考え方が主流となりつつあります。この新しい動きの中で、経済産業省近畿経済産業局に加えて、通信を担う総務省近畿総合通信局、公益社団法人計測自動制御学会、公益社団法人自動車技術会関西支部、一般社団法人電子情報技術産業協会などと協調を図り、産学官連携によって概念から実践へと深化させ関西から具体的な解決策を発信する様々なセッションを企画しています。

#### ③業種・産業を超え、自ら変革をリードする展示会へ

展示会を機器メーカーによる見本市とするのではなく、出展者と来場者が知恵を共有して新ビジネス創出を目指す出会いと交流の場をご提供します。2018年の計測展では、新たな試みとして、自動車開発に学ぶ未来のものづくりの一端に触れる企画や、将来のオープンイノベーションを見据えたビジネスマッチングイベントなどを開催します。

## 1. 開催概要

名 称:[和文]計測展 2018 OSAKA

[英文]Measurement and Control Show 2018 OSAKA

テ ー マ:未来のものづくり社会を支える 計測・制御技術の総合展

PR メッセージ:未来を、共創(つくる)。～“KANSAI” Connecting Invention～

会 期:2018年11月7日(水)～11月9日(金)

時 間:10:00～17:00

会 場:グランキューブ大阪(中之島・大阪府立国際会議場)

主 催:一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)

後 援:経済産業省近畿経済産業局/総務省近畿総合通信局/大阪府/大阪市/大阪商工会議所(順不同)

協 賛:一般財団法人 大阪科学技術センター/一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター/

国立研究開発法人 産業技術総合研究所/独立行政法人 製品評価技術基盤機構/

公益社団法人 計測自動制御学会/公益社団法人 自動車技術会関西支部/

一般社団法人 システム制御情報学会/一般社団法人 電子情報技術産業協会/

一般社団法人 電子情報通信学会/日本電気計器検定所/一般社団法人 日本電機工業会/

一般社団法人 日本電気制御機器工業会/一般社団法人 日本電設工業協会/

一般社団法人 電気学会/一般社団法人 日本機械学会

(順不同・予定)

開催規模:出展者 72社・団体/183小間(2018年10月29日現在)、 来場者数 15,000人(予定)

入 場 料:1,000円(消費税込)(学生、事前登録者および招待券持参者は入場無料)

公式サイト:<https://jemima.osaka/>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/mcs.osaka/>

## 2. 展示概要

様々な種類の計測機器、PA/FAを中心にあらゆる用途で使う制御機器、応用分野やソフトウェア分野での最新ソリューションを展示します。また、2018年の新企画として、工場のスマート化/FA、データ流通/センシング、次世代モビリティ、AI技術といった注目分野を見据えて、最新のテクノロジーを軸とした包括的なソリューションを体験頂けます。

＝展示品目＝

【測定器】電気測定器、FA用計測制御機器、PA用計測制御機器、指示計器、電力需給計器、電子応用計測器、環境計測器、放射線計測器 【センサ】存在検知センサ、FAインテリジェントセンサ

【制御】アクチュエータ、プログラマブルコントローラ、FAシステム機器、電源機器、グラフィック表示器

【機器】表示監視機器、安全制御機器/ソリューション、省エネ・新エネ関連機器/ソリューション、情報伝送装置・周辺装置、ロボット・周辺機器 【ソフトウェア】計測・制御ソフトウェア/ソリューション、組込ソフトウェア

【安全】監視・保全システム 【AI・IoT・ビッグデータ】AI、ICT全般、IoT/M2M、ビッグデータ活用

### 3. 併催事業

現場ユーザーの関心・課題に応える「工場設備とIoT」と「AIと自動運転・自動化技術」という、2大テーマに焦点を絞り、3日間で計66テーマのセミナーを開催します。

#### ■基調講演

・11/7(水) 11:00-12:00 10階 1009 会議室

「Connected Industries と関西での取組み」 近畿経済産業局長 森 清氏



#### ■特別講演

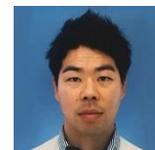
・11/7(水) 12:30-14:15 10階 1009 会議室

「産業保安のスマート化と先行事例のご紹介」

経済産業省 産業保安グループ 保安課 課長補佐 高橋 秀太郎氏

「製油所向けプラットフォームの開発」

石油エネルギー技術センター 技術企画部 上席主任研究員 秋本 淳氏



・11/7(水) 15:00-16:30 10階 1009 会議室

「秤が支える AI+IoT パナソニック時代のビジネス革新とパナソニックの挑戦」

パナソニック イノベーション戦略室 ソフトウェア戦略 担当理事 梶本 一夫氏



・11/9(金) 13:00-14:30 10階 1009 会議室

「超スマート社会 Society 5.0 実現に向けて」

科学技術振興機構 プログラム戦略推進室 山田 直史氏



#### ■自動車技術会関西支部 特別協賛講演

・11/8(木) 10:30-12:00 10階 1009 会議室

「自動車電動化と、三菱自動車における xEV の取組み」

三菱自動車工業 EV・パワートレイン技術本部 EV 制御開発部 部長 戸塚 裕治氏



・11/8(木) 13:00-14:30 10階 1009 会議室

「リチウムイオン電池 現在・過去・未来」

旭化成 名誉フェロー 工学博士

技術研究組合 リチウムイオン電池材料評価研究センター 理事長 吉野 彰氏



・11/8(木) 15:30-17:00 10階 1009 会議室

「自律から協調へ:自動運転技術の今後の展開」

同志社大学 モビリティ研究センター センター長 教授 佐藤 健哉氏



■【近畿経済産業局 特別連携企画】 11/7(水)12:30-14:15 10階 1008 会議室

「SenStick でセンシングビジネスを考えるワークショップ」

センサの小型化・低廉化が進む中、あらゆるものにセンサが埋め込まれ、“これまでにないサービス”が展開され、いわゆる Society5.0(超スマート社会)が期待されます。本ワークショップは、その時代を想定した2025年に向けてセンシングビジネス(超小型マルチセンサボード SenStick の活用)を考えるアイデアワークショップです。

■【総務省近畿総合通信局 特別連携企画】 11/9(金)13:00-17:00 10階 1008 会議室

「実践に効く IoT 人材育成セミナー」

自社事業発展・改革に向けて IoT 導入を検討中の方に近畿総合通信局主催のワンストップで導入ノウハウ習得を目指す「IoT 人材育成セミナー」です。展示・セミナー・IT 団体との交流を通じて、過去にない新しいスタイルで“IoT 導入・活用の全貌”を解りやすく解説します。

■【電子情報技術産業協会 特別連携企画】パネルディスカッション 11/9(金)15:30-17:00 10階 1009 会議室

「AI が人々の豊かな生活を実現 ～SDGs・Society 5.0 実現のための AI の社会実装に向けて～」

JEITA 技術戦略部会で作成した提言「人工知能の社会実装に向けて」にそったキーワードを軸に、日本が目指す SDGs・Society 5.0 実現のために理解すべきこと、取り組んでいくべきこと等を議論します。

■スポンサーセッション

- ・「プロセスオートメーション産業におけるデジタル革命」(FieldComm Group)
- ・「ここまで来た！ 予知保全・故障予測～実例で学ぶ AI の実践的活用～」(MathWorks Japan)
- ・「平成 30 年度省エネ診断・技術事例発表会」(省エネルギーセンター)
- ・「IoT 化した産業機器に適した収益化モデルとは？」
- ～ものづくりからサービス事業へシフトするハードウェアメーカーの実態～(ジェムアルト)

■学生・メカエレ業界で働く女性ツアー&交流会 11/7(水)10:20-12:00 ・8(木)10:20-12:00 10階 1006 会議室

国内で学ぶ機械・電子など理系学生とメカエレ業界で働く女性向けに、計測と制御技術の最新動向とその魅力を伝える見学ツアーを開催します。最先端の製品や、世界で活躍するエンジニアに接する貴重な機会を提供します。製造業に関心が高い学生は、各ブースで業界トップメーカーの担当者による説明を聞くことができる機会です。

■留学生ツアー&交流会 11/8(木)15:00-16:40 集合:10階 1006 会議室 交流会:10階 1004 会議室

情報系を専攻する海外留学生がニッポンの計測と制御技術の最前線を学ぶためのブース見学ツアーを開催します。各ブース担当者が英語でガイドします。最新技術動向の理解に加えて、ツアー後の交流会を通してグローバルな人的ネットワーク構築にもお役立て頂けます。

■来場者と出展者をつなぐ「JEMIMA ステージ」 11/7(水)～9(金)10:00-17:00 3階 10階特設ステージ

3階の展示会場と10階ホワイトエに特設ステージを設置し、会期中毎日トークショーを展開します。展示ブースの見どころ、セミナーの聴きどころなどをご紹介します。スマート社会を支える計測・制御技術のホットピックスをわかりやすく解説します。ビジネスマッチング出展企業によるショートプレゼンもあります。

■【近畿経済産業局特別連携企画】ビジネスマッチング 11/7(水)～9日(金)16:00-16:40 10階 1006 会議室

優れた技術やサービスを保有するシーズ企業と商談ができるビジネスマッチングイベントを開催します。マッチング専用の会場を設け、シーズと産業界のニーズとの出会いの場を提供。商談の事前予約ができます。

## ■出展者セミナー(46 セッション)

出展者による最新製品やソリューションをより詳しく紹介するセミナーです。展示だけでは伝わりづらい製品の特徴や活用のヒントをわかりやすく解説します。

## ■JEMIMA 委員会セミナー(9 セッション)

JEMIMA 委員会による調査・研究活動成果をセミナーにてご紹介します。

【エネルギー・低炭素政策委員会】 エネルギーバリューチェーンにおける工場のエネルギーマネジメント

【電子測定器委員会】 EV を含む電子機器の性能評価に不可欠な測定器の選択ポイント

【先端技術調査委員会】 IoT 時代の機械学習の実像と先端センシング技術への展開

【産業計測機器・システム委員会】 IoT 時代に必要な無線計装と制御システムセキュリティ

【産業計測機器・システム委員会 機能安全調査研究 WG】 日本での安全規制の高度化と機能安全を実現する安全計装システム

【校正事業委員会】 広がる校正サービス 2018 ～JCSS 創設 25 年を振り返って～

【IoT イノベーション推進委員会】 委員会活動報告—成果、状況と課題

【環境グリーン委員会】 製品含有化学物質規制の基礎と欧州環境規制最新動向

【IEC/TC65 国内委員会】 スマートマニュファクチャリングにおけるセキュリティ

・ニュースリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ:

運営事務局: 計測展 2018 OSAKA 運営事務局(日経 BP 社) [担当: 深山/柳田]

TEL: 03-6811-8084 e-mail: mcs2018@nikkeibp.co.jp

・本展に関する一般からのお問い合わせ:

一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA) 基本機能グループ [担当: 宮川/富山]

TEL: 03-3662-8181 e-mail: mcs2018@jemima.or.jp